

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名 クラスターテクノロジー株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4240 URL <https://www.cluster-tech.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 安達 良紀  
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 駒井 幸三 TEL 06-6726-2711  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	439	0.8	20	△39.2	21	△36.3	16	△39.7
2024年3月期中間期	435	△0.8	33	56.0	34	54.7	26	83.2

  

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	2.81	—
2024年3月期中間期	4.67	—

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	1,710	1,567	91.6
2024年3月期	1,743	1,551	89.0

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 1,567百万円 2024年3月期 1,551百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,005	9.4	65	△5.4	66	△5.5	62	8.5	10.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	5,692,800株	2024年3月期	5,692,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	208株	2024年3月期	208株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	5,692,592株	2024年3月期中間期	5,692,592株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間貸借対照表 .....	5
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における世界経済は、米国の景気後退懸念はあるものの、多くの国でインフレが落ち着き、実質賃金が改善し、底堅い成長を維持しております。しかし国際対立・紛争など、様々な不透明な状況は依然続いております。

わが国製造業においては、7月以降に円高進行に転じたものの、底堅い設備投資需要、インバウンド需要の増加、個人消費の回復等、景況感は改善しております。経済協力開発機構(OECD)は、9月に発表した経済見通しで、2024年の日本の経済成長率見通しを上方修正しました。

一方、原料高等によるコスト増、人手不足や米国大統領選後の動向など不透明な要因も混在しております。

このような状況下、当社は、前中期経営計画(2022年3月期から2024年3月期)の「経営方針」の取組内容を見直すとともにその実行力を強化しながら、売上高が外部環境に大きく影響を受けにくい企業体質へ転換を図る、新中期経営計画(2025年3月期から2027年3月期)をスタートしました。「経営方針」としては「チームワークと実行力の強化!」をスローガンに、各方針を推進しております。

- ① 新規開拓に向けた営業力の強化
- ② 環境への対応と未来への商品開発
- ③ 生産力の強化と人材育成

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業については、パルスインジェクター®(以下、PIJという)及びレジャー分野並びに金型の売上高は伸び悩んだものの、その他の主力分野の売上高は前年同期比で増加いたしました。

同関連事業の分野別状況は以下のとおりです。

映像機器分野は、デジタルカメラ市場において、「レンズ交換式」の約80%(数量)を占める「ミラーレス」は引き続き堅調に推移いたしました。当社においては、ミラーレス機種や人気機種的好調に支えられ、売上高は前年同期比で増加いたしました。

OA機器分野は、金型の売上高が第1四半期に寄与し、複写機向け成形品が比較的堅調に推移したことから前年同期比で増加いたしました。

産業機器分野は、遅れていた新機種の一部が量産を開始し売上高に寄与したことなど前年同期比で増加いたしました。

レジャー分野は、新機種の売上高が寄与したものの、第2四半期の売上高が低調に推移したため、前年同期比で減少となりました。

PIJは、引き続き、大学研究室及び各企業の研究・開発部門を中心に研究開発を支えるツールとして多分野への展開を推進いたします。

マクロ・テクノロジー関連事業については、国内の積極的な設備投資やバブル期からの受電設備のリニューアル需要もあり、樹脂成形品、樹脂成形材料ともに前期の売上高は堅調に推移しておりましたが、当中間会計期間においては受注が低調に推移したことにより、前年同期比で大幅に減少いたしました。

地球環境や環境政策なども視野に入れた新商品「PasCom」(バイオマスプラスチック複合材料)及びカットコーム「PASCOMB(パスコーム)」については数年内の業績寄与は厳しい状況ですが、引き続きビジネス探索を行い、売上高拡大へ向けて改良、応用製品への展開を進めております。

一方、「新規開拓に向けた営業力の強化」については、顧客訪問件数は進捗状況の共有化、見える化を推進しております。自社活動と商社連携活動の両輪により、顧客との直接対話を増やしながらか、積極的な受注活動を行ってまいります。

展示会は、10月に東京ビッグサイトにて開催された「エヌプラス(N-Plus)2024」に出展いたしました。

利益面においては、売上高は微増となり、また製造経費や販売費及び一般管理費も抑えられましたが、前年同期に好調であったマクロ・テクノロジー関連事業の生産量が減少したことやナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業のセグメント利益が前年同期比で減少したことから売上総利益は減益となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は439百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は20百万円(前年同期比39.2%減)、経常利益は21百万円(前年同期比36.3%減)、中間純利益は16百万円(前年同期比39.7%減)となりました。

当中間会計期間セグメントの業績は次のとおりであります。

①ナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業

ナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料及び機能性精密成形品並びにP I J関連製品の当中間会計期間の売上高は348百万円(前年同期比4.1%増)、セグメント利益は157百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

②マクロ・テクノロジー関連事業

マクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料、樹脂成形碼子及び金型・部品の当中間会計期間の売上高は81百万円(前年同期比16.0%減)、セグメント利益は22百万円(前年同期比24.8%減)となりました。

③その他事業

その他の事業につきましては、医療薬品容器の異物検査事業などにより、当中間会計期間の売上高は8百万円(前年同期比155.2%増)、セグメント利益は1百万円(前年同期比494.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における資産は、2024年3月期末より32百万円減少し、1,710百万円となりました。

これは、主に現金及び預金の増加55百万円、受取手形及び売掛金の減少67百万円、有形固定資産の減少20百万円によるものです。

(負債)

負債合計は、2024年3月期末より48百万円減少し、143百万円となりました。

これは、主に買掛金の減少24百万円、未払法人税等の減少4百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等の減少10百万円及び未払費用の減少3百万円によるものです。

(純資産)

純資産は、2024年3月期末より16百万円増加し、1,567百万円となりました。

これは、中間純利益16百万円の計上によるものです。

また、自己資本比率は、2024年3月期末に比して2.6ポイント増加して91.6%となりました。

## キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ55百万円増加し、当中間会計期間末には318百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間純利益21百万円に減価償却費26百万円、売上債権の減少67百万円等を加減した結果、63百万円となりました。

### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出等により、6百万円の支出となりました。

### <財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出により、1百万円の支出となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日の「2024年3月期決算短信[日本基準](非連結)」で公表しました通期の業績予想は、今後の売上高状況や通期を通しての不透明要因が見込まれることなどを考慮し、現時点では据え置きをさせていただきます。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	892,842	948,477
受取手形及び売掛金	174,689	107,502
商品及び製品	29,171	36,351
仕掛品	52,528	58,217
原材料及び貯蔵品	79,665	69,450
その他	5,159	3,440
流動資産合計	1,234,056	1,223,439
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	163,301	159,906
土地	160,500	160,500
その他(純額)	153,999	136,886
有形固定資産合計	477,801	457,293
無形固定資産	6,840	6,532
投資その他の資産	24,409	23,203
固定資産合計	509,050	487,030
資産合計	1,743,107	1,710,470
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	49,367	25,091
未払法人税等	13,546	9,509
賞与引当金	31,457	30,452
その他	83,263	65,239
流動負債合計	177,634	130,293
固定負債		
長期未払金	3,620	3,620
リース債務	10,798	9,482
固定負債合計	14,418	13,102
負債合計	192,053	143,396
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,240,721	1,240,721
資本剰余金	5,927	5,927
利益剰余金	304,532	320,552
自己株式	△126	△126
株主資本合計	1,551,053	1,567,073
純資産合計	1,551,053	1,567,073
負債純資産合計	1,743,107	1,710,470

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	435,869	439,244
売上原価	241,665	257,329
売上総利益	194,204	181,915
販売費及び一般管理費	161,193	161,829
営業利益	33,011	20,085
営業外収益		
受取利息	279	281
売電収入	797	698
助成金収入	450	1,017
その他	42	124
営業外収益合計	1,569	2,120
営業外費用		
支払利息	121	146
売電原価	327	327
その他	0	-
営業外費用合計	448	474
経常利益	34,132	21,731
税引前中間純利益	34,132	21,731
法人税、住民税及び事業税	6,705	4,557
法人税等調整額	870	1,153
法人税等合計	7,576	5,711
中間純利益	26,556	16,020

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	34,132	21,731
減価償却費	30,561	26,737
長期前払費用償却額	93	78
賞与引当金の増減額(△は減少)	150	△1,005
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△352
受取利息及び受取配当金	△279	△281
支払利息	121	146
売上債権の増減額(△は増加)	31,026	67,186
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,715	△2,653
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,993	△24,275
未収消費税等の増減額(△は増加)	550	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,362	△10,079
その他の資産の増減額(△は増加)	1,790	1,999
その他の負債の増減額(△は減少)	9,492	△7,298
その他	110	△51
小計	102,401	71,883
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△121	△146
法人税等の支払額	△3,331	△8,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,948	63,194
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,115	△10,115
定期預金の払戻による収入	10,115	10,115
有形固定資産の取得による支出	△88,187	△6,244
無形固定資産の取得による支出	△2,227	-
長期前払費用の取得による支出	△289	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,703	△6,272
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△1,155	△1,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,155	△1,287
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,089	55,635
現金及び現金同等物の期首残高	245,665	262,726
現金及び現金同等物の中間期末残高	252,754	318,361

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	ナノ/ マイクロ・ テクノロジー 事業	マクロ・ テクノロジー 事業	計				
売上高							
樹脂	1,696	48,491	50,188	—	50,188	—	50,188
成形品	292,672	47,523	340,195	—	340,195	—	340,195
金型	36,531	755	37,286	—	37,286	—	37,286
その他	4,155	735	4,890	3,308	8,199	—	8,199
外部顧客への売上高	335,055	97,505	432,560	3,308	435,869	—	435,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	335,055	97,505	432,560	3,308	435,869	—	435,869
セグメント利益	163,459	30,551	194,011	193	194,204	—	194,204

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療薬品容器の異物検査事業などを含んでおります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	ナノ/ マイクロ・ テクノロジー 事業	マクロ・ テクノロジー 事業	計				
売上高							
樹脂	1,723	38,887	40,611	—	40,611	—	40,611
成形品	320,891	42,872	363,764	—	363,764	—	363,764
金型	23,273	—	23,273	—	23,273	—	23,273
その他	3,004	148	3,153	8,442	11,596	—	11,596
外部顧客への売上高	348,893	81,908	430,802	8,442	439,244	—	439,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	348,893	81,908	430,802	8,442	439,244	—	439,244
セグメント利益	157,798	22,969	180,768	1,147	181,915	—	181,915

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療薬品容器の異物検査事業などを含んでおります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。